



「傘踊り」で祝福

かごしま長島会20周年記念総会・懇親会



2月21日、鹿児島サンロイヤルホテルで、かごしま長島会の設立20周年記念総会・懇親会が開催され、県内で活躍する長島町出身者や関係者、約80人参加しました。

オープニングでは、唐隈郷土芸能保存会の女子小中高生7人が「傘踊り」を披露。一糸乱れぬパフォーマンスに会場からは、盛大な拍手が贈られていました。松ヶ野正弘会長は「郷土の踊りに感動した。長島町の皆さんからのご協力に感謝したい」と話しました。会場には獅子島架橋の募金箱が設置され、支援金には、松ヶ野会長から川添町長へ手渡されました。

伊唐小学校、伊唐大橋の工事を見学

地元の橋へ理解を深める



3月6日、伊唐小学校（向井理恵子校長、17人）で全校参加のお別れ遠足が実施されました。今回は、現在改修中の伊唐大橋の見学が日程に取り入れられ、普段使っている橋について学びを深めました。

見学では、改修事業者から伊唐大橋ができた経緯や橋の構造、改修に係る工事の施工方法などの説明がありました。

馬場朝日さん（6年）は「今まで使っていた橋が工事していることは知っていたが、工事の内容が分かってよかった」と地元の橋への理解を深めた様子でした。

町内の小中学校で卒業式

自信と誇りを胸に夢に向かって



3月11日に町内の中学校で、24日は小学校で卒業式があり、町内の中学生86人と小学生94人が親しんだ学び舎を巣立ちました。

鷹巣中学校（脇岡博史校長・82人）では、29人が卒業しました。脇岡校長は「素直な心は、あなたを強く、正しく、聡明にしてくれる。予測困難な時代にその心で判断し、自身の可能性を膨らませてほしい」と激励。卒業生答辞で濱島海司さんが、あふれる感情と共に3年間の思い出を振り返り「鷹巣中学校の生徒である自信と誇りを持ちそれぞれの夢に向かって進んでいく」とあいさつしました。

垂門さんが厚生労働大臣賞を受賞

今後も皆さんの力になれるよう



垂門和志さん（田尻）に民生委員・児童委員と鹿児島県戦病者相談員としての功績が認められ、令和7年12月1日に厚生労働大臣賞が贈られ、3月12日、川添町長に報告しました。

垂門さんは、平成16年12月から令和5年11月末まで民生委員・児童委員として福祉事業に、平成25年10月から現在まで戦病者相談員として援護事業に携わっています。

表彰を受けて「現在は、相談員として励んでいる。今後も皆さんの力になれるよう精進したい。受賞を光栄に思う」と話しました。